

# 新着図書



## 図書館通信

中高生版 2021年10月号 No.4

### イベントのご案内

### 図書館まつり ～図書館へいこう'21～

10月30日(土)・31日(日)

#### ☆ (パネル展)

#### 「どんぐりむらの世界へようこそ！」

なかや みわさんの柔らかな絵と、どんぐりむらの仲間たちが、心をいやしてくれます。予約不要です。

#### ☆ (特集展示)

#### 「エモい！ なつかしい！ 昭和レトロ」

本を読んで、昭和の時代へタイムスリップしませんか？

2021 第75回 読書週間 10月27日から11月9日まで  
(標語) 「最後に頁を閉じた 違う私が出た」

#### <小説>

#### 『星天の兄弟』

菅野 雪虫/著 東京創元社



#### <小説>

#### 『わたしは夢を見つづける』

ジャクリーン・ウッドソン/作  
さくま ゆみこ/訳 小学館

#### <人生訓>

#### 『ミライを生きる君たちへの特別授業』

ジュニスタ編集部/編 岩波書店

#### <社会学>

#### 『見た目が気になる「からだ」の悩みを解きほぐす26のヒント』

河出書房新社/編  
青木 美沙子/ほか著 河出書房新社

#### <内科学>

#### 『世界一やさしい依存症入門 やめられないのは誰かのせい？』

松本 俊彦/著 河出書房新社

#### <小説>

#### 『5分で読書 最後はかならず私が勝つ』

カドカワ読書タイム/編  
KADOKAWA

#### <教養>

#### 『地球で暮らすきみたちに知ってほしい50のこと』

ラース・ヘンリック・オーゴード/著  
椛谷 玲子/訳 晶文社

#### <国際問題>

#### 『絵で見てわかる核兵器禁止条約ってなんだろう？』

川崎 哲/監修 旬報社

#### <伝説>

#### 『妖怪がやってくる』

佐々木 高弘/著 岩波書店



#### <衛生学>

#### 『海をわたった母子手帳 かけがえのない命をまもるパスポート』

中村 安秀/著 旬報社

### 図書館 カレンダー

この印が休みの日です

### 10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

### 11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※11月の館内整理日は、第3水曜日です。

第4水曜日は、開いています！

**開館時間 10時～18時**

図書館まつりのため、次の期間は2階施設が利用できません。  
AV視聴コーナー 10月8日(金)～31日(日)  
えつらん室 10月29日(金)午後～31日(日)



図書館の中は  
マスク着用で  
お願いします。

## 今月の特集コーナー

<児童書テーマ>

### 「探偵気分で読んでみよう」

#### 『少年少女のためのミステリー超入門』

(芦辺 拓/著 岩崎書店)

ミステリー作家による、探偵小説の案内書です。内容の紹介だけでなく、その話が生まれた時代背景についても解説されていて、探偵小説全体の魅力が余すことなく書かれてあります。

<一般書テーマ>

### 「本を開けば美術館」

#### 『寂しい写楽』

(宇江佐 真理/著 小学館)

寛政の改革で痛手を受けた蔦屋重三郎が起死回生を狙って打ち出したのは、今までだれも見たことのない役者絵を世に出す計画でした。写楽の他に喜多川歌麿や歌川豊国など、時代を席卷した浮世絵師が登場します。

## はっさくさんの本棚



今月は「長与町の子どもたちに読んでほしい200冊の本」の中から3冊紹介するよ。

#### 『iPS 細胞を発見！山中伸弥物語 折れない心で希望をつなぐ！』

(上坂 和美/著 PHP 研究所)

iPS 細胞の研究でノーベル賞を受賞した山中さんの人生は、けして順風満帆というわけではなかったそうじゃ。それでも研究を続けたのはなぜか？困難や挫折を乗り越えて、自分の信念を貫いた一人の研究者の物語じゃよ。

#### 『あのころはフリードリヒがいた(新版)』

(ハンス・ペーター・リヒター/作 上田 真而子/訳 岩波書店)

フリードリヒの家族はユダヤ人というだけで、ドイツ人から不当な扱いを受けてしまう。やがてそれは激しくなり、ついに家を追い出されるのじゃ。幼なじみのドイツ人一家が、周りの目を盗みながら支え続けるのじゃが…。

#### 『いじめられている君へ いじめている君へ いじめを見ている君へ 完全版』

(朝日新聞社/編 朝日新聞出版)

過去にいじめを受けていた有名人たちが、全ての子どもたちへ送るメッセージじゃよ。中には真似をしてはいけないような方法もあるが、どのメッセージにも共通していることは「生き続けてほしい」という思いじゃ。

「長与町の子どもたちに読んでほしい200冊の本」は、町内小中学校の先生や図書校務員のみなさんが、図書館司書と一緒に選定した本じゃ。わしもこの中の本を、何度も読み返しとるよ。みんなにも読んでほしいのう。